

令和4年9月21日

9月の木材価格・需給動向

1. 国産材(北関東)

栃木県では各地区とも入荷は順調である。共販所では選別機、土場の修理で作業が出来ず、取扱量は減少。スギ柱材は17,000円/m³、4m中目材も13,000円/m³を割ってしまった。ヒノキ材も柱。土台・中目材が続落し、母屋材のみ21,000~23,000円/m³台で保合。

群馬でも入荷は順調。原木価格は下落傾向。全体的に引き合いは増加傾向にある。プレカット工場への納材は依然として順調。受注はスギ・ヒノキ正角とスギ平角が多いが、貫、羽柄材は低調である。製品在庫は均衡。製品価格は羽柄材とスギ柱がやや下落したが、平角、母屋角は横ばい推移。

2. 米材

産地では米国内の原木価格は高原状態で横ばい推移。カナダBC州では立木価格の高騰と州政府による伐採制限で原木価格は高値で推移していたが、米国向け製材品価格の軟化の影響で下落傾向に転じた。今年は山火事警戒による伐採制限が発動されることなく、夏が終わりつつある。米国の伐採は順調ながら港頭在庫の積み上げまでには至っていないが、輸出用原木が不足する環境にはない。カナダBC州では依然伐採量が上向かず、港頭在庫は低水準のままである。米マツ IS 級並の9月積み対日輸出価格(推定)は前月より\$40下げの\$1,210/千SCRで決着した模様。米国内は高金利・住宅価格の高騰により住宅市場は減速しており、製材品価格は現物、先物ともに下落している。現地工場は減産を継続している。ランダムレングス紙発表の15種平均価格(9/6)は\$558/M、8月頭に比べ14.0%の下落。

7月原木入荷は214千m³で前月比16.1%減、1~7月累計は1,478千m³(前年同期6.3%増)、出荷は201千m³で前月比12.6%減、1~7月累計は1,389千m³で前年同期並み、在庫は増加し206千m³となり、在庫率は1.01ヵ月と徐々に増加。米国西岸港湾労使協定の失効に伴うストライキに備え、国内最大手製材は原木在庫を積み上げている模様。東京木材埠頭の8月製品入荷は月初にバルク船が入り17千m³(前月比89.5%増)、出荷は15千m³(同5.4%増)、在庫は49千m³(同2.4%増)。輸入製材品は当用買い中心。現地新規オフィアの値下げ情報が入ったことで正角、割物とも荷動きが悪い。

3. 南洋材

サラワク州では8月は全域天候に恵まれ、原木生産は順調であったが、小径木中心で60cm上のレギュラーサイズの比率が低下している。樹種もMLH(雑木)が多く、日本向け製材用原木は減少。主力バイヤーはインドで9月輸出予定量は3船、7万 m^3 。中国が不振で価格が下がったことが影響している。PNGでは天候不順で原木生産量は伸びていない。2次林、3次林中心で製材用大径木が少なく、日本向けの製材用ロットを作るのが難しい状況。サバ州ではまだ原木輸出の実績はない。9月予想の原木入荷は0千 m^3 、出荷は2千 m^3 、在庫7千 m^3 。製材品入荷は30千 m^3 。

4. 北洋材

日本側の流通在庫が多く、産地への新規発注は殆ど無い状態。夏場で良質原木が少なく、現地シッパーは焦っていない。一部の生産済み製品の処分売りを急いでおり、安値でのオファーも散見される。中国市場も回復が遅れており、またウクライナ問題発生後、欧州向けのカラマツ輸出もなくなり、原木伐採量を減らさざるを得ない状況。アカマツ原板の本格交渉は秋口からと見られる。8月も現地挽き完成品の入荷は減らず在庫水準は高いが、9月以降は入荷は急速に減少する見込みで、年明けは不足局面になる可能性もある。国内製材工場には高コストの原板が順次入荷しており、売値も下がることで採算は苦しくなる。現状の原板在庫は十分にある。国産完成品はDIY/流通ともに受注量は落ちている。7月の製品入荷(東京+川崎)は20千 m^3 の高水準、出荷は12千 m^3 と低調、在庫は62千 m^3 と急増している。

5. 合板

合板用原木のスギ、ヒノキ価格は原木市場や共販所で下落しているが、メーカー直送の価格は下がっていない模様。東日本の合板メーカーはカラマツや米マツの原木入荷量を増やしており、カラマツは供給が増えた分を受け入れている。

7月の国内合板生産量は26.5万 m^3 、うち針葉樹合板は25.8万 m^3 、出荷量は25.1万 m^3 で在庫量は9.9万 m^3 、うち構用合板の在庫は7.9万 m^3 と前月より微増。在庫率0.4ヵ月と低水準が続く。針葉樹合板は西日本の工場火災で、長尺合板の品不足感はあるが、代替品の対応で現場には影響は出ていない。メーカーの値上げが止まると同時に仮需がしばみ、荷動きが一服している。9月も価格は据え置き。中国産針葉樹合板の価格が下がっているが、品質評定が定まらない。輸入合板の新規先物コストは円安により現行販売価格を大き

く上回ることになり、新規成約はなかなか進まない状況。6月の合板輸入量は24.1万m³(前月比10.5千m³増)で主要国からの輸入量は概ね増加、中国産は前月より減少しているが高止まり。針葉樹合板が13千m³(12mm換算65万枚)。インドネシアでは古い契約残を消化仕切れていないため、シッパーに対早期生産を強く求めている。マレーシアでは合板市況が踊り場を迎えており、一旦様子見となっている。

6. 構造用集成材

ラミナ、輸入集成材とも早いタイミングで入港しており、入荷過多で港で保管されるケースが目立つ。今年第3・四半期契約価格は€430前後で前回と比べ約€100の下落。第4・四半期契約は未定であるものの値下げの見込み。現在の入港は第2・四半期契約分(€550近辺)で港着価格は78,000~83,000円/m³周辺。国内メーカーの受注はスギ集成材が好調であるが、全体で見ると良くない。例年9月以降の販売は好調であったが、今年は不透明である。輸入集成材の国内流通価格は120,000円/m³周辺となっている。

7. 木材チップ(東海)

チップ原木は製紙・バイオマス用とも引き合いは強い。解体材は盆明け以降の入荷は順調だが、地域、業者により偏りがある。災害廃棄物の一時的な増加はあるが、下期以降の集荷に各社警戒感が強い。製紙用はLC、NCとも国内産チップの増集荷基調を継続。燃料用は解体系の入荷が相対的に落ち込んでおり、冬場に向けて各社警戒感が強い。輸入チップではベトナム産広葉樹チップの水分過多の問題が出ている。

8. 市売問屋

盆明けに期待していたが、市況は変わらず静かな動きである。市日に来場者が増えず、材木店の仕事の少なさが窺える。納材業者の動きも悪い。構造材は国産材、外材とも少量しか動かない。造作材は不足材が無く、市場内の材で間に合っている。製材工場も注文が少なく、製品在庫が溜まり始めている模様。

9. 小売

木材製品は品薄感が払拭されつつある。建材商品の納期遅れは続いており、解消の見込みは立っていない。国産材構造材の荷動きは鈍く価格は弱含み。ウッドショックによる樹種転換でスギ製品の品質面で必要十分と評価されるようになった。WW集成柱、RW集成平角とも荷もたれ感がある。羽柄材は昨年と比べると、荷動きは低調で在庫も滞留している。リフォーム物件は底堅いが、建材、住設機器の納期遅れが生じており、材木店は積極的に仕入しづらい状況にある。造作材の荷動きは一服感が出ている。

参考資料

(一財)日本木材総合情報センター

令和4年9月21日

1. 主要外材入出荷在庫量

		入荷量	出荷量	在庫量
米材	丸太	→	→	→
	製材品	→	→	→
北洋材	丸太	輸出禁止	*	*
	製材品	↘	↗	↘
南洋材	丸太	↘	↘	→
	製材品	→		

注)北洋製材品は東京・川崎

矢印の表示は今月に対する翌月の動向を、下記のように示したものである。

- ↑ 急増・急上昇
- ↗ 増加・上昇
- 横ばい
- ↘ 減少・低下
- ↓ 急減・急落

2. 合板供給量

国内製造量	輸入量		
	計	インドネシア	マレーシア
↗	↗	↗	↗

3. 価格動向

樹材種	形状	取引条件	樹種・寸法等	動向
国産材	丸太	卸売価格 (北関東、県内産 市場土場渡し)	スギ柱材 (3m) 2等	↘
			スギ中丸太 (3.65m) 2等	↘
			ヒノキ柱材 (3m) 2等	↘
			ヒノキ中丸太 (4m) 2等	↘
	製材品 (関東近県産 板は東北産)	首都圏・市売り 価格	スギ柱角 (KD) 10.5×10.5×3m 特等	→
			スギ柱角 (KD) 12.0×12.0×3m 特等	→
			スギ間柱 (KD) 10.5×3.0×3m 特等	→
			スギ加工板 1.3×18.0×3.65m 特等	→
			スギタルキ 3.0×4.0×3.65m	→
			ヒノキ柱角 (KD) 10.5×10.5×3m 特等	→
ヒノキ柱角 (KD) 12.0×12.0×3m 特等	→			
ヒノキ土台角 12.0×12.0×4m 特等	→			
米材	丸太	産地価格	米マツ ISタイプ	→
		国内卸売価格 (京浜・オントラ)	米マツ ISタイプ コースト	→
	製材品 (カナダ産・ 現地挽き) (国内挽き)	東京・問屋店頭 渡し価格	米ツガ桁角 (KD) Std&Btr S4S 10.5×10.5×4m	→
			SPF 2×4 J-Grade R/L	→
			米ヒバ土台角 (GR) Std&Btr 4・13/16" 13'	→
米マツ平角 (KD) 特等 10.5×24.0×4m	→			
南洋材	丸太	産地価格	メランティレギュラー	→
		東京・水面筏 渡し価格	メランティレギュラー 60cm上、4m上 製材用 メランティレギュラー 60cm上、4m上 合板用	→
	製材品	産地価格	ホワイトセラヤ 平割 (サバ州産)	↗
		東京・問屋店頭 渡し価格	同上2.4cm×込み×4m 定尺1等	↗
北洋材	製材品	国内卸売価格 (京浜・オントラ)	アカマツ (KD) 30×40上級 アカマツ (KD) 16×40上級	→
		アカマツ (KD) 16×40上級	→	
欧州材	製材品 (現地挽き)	東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトウッド 間柱 3.0×10.5×3m S4S FOHC ホワイトウッド ラミナ 2.4×11.0×3m上 ラフ乱尺	→
		ホワイトウッド 無化粧 JAS 5プライ	→	
集成材	国産	東京・問屋店頭 渡し価格	スギ 無化粧 JAS 5プライ	→
		スギ 無化粧 JAS 5プライ	→	
	欧州産	//	10.5×10.5×2.98m	→
合板	国産	東京・問屋店頭 渡し価格	タイプ2 F☆☆☆☆ 2.3mm厚 3×6	→
			タイプ2 F☆☆☆☆ 4.0mm厚 3×6	→
			型枠 12.0mm厚 3×6	↗
			針葉樹構造用 12.0mm 3×6 F☆☆☆☆	→